

平成 30 年度子ども・子育て支援調査研究事業

小さく産まれた赤ちゃんへの保健指導のあり方に関する調査研究

「低出生体重児保健指導マニュアル」の正誤表

「低出生体重児保健指導マニュアル」につきまして、下表の通り修正を行っております。  
お手数をお掛けして大変申し訳ございません。

該当箇所	誤	正
5 ページ 【図 4】	(出典の記載なし)	<u>日本産科婦人科学会「推定胎児体重と胎児発達曲線」保健指導マニュアル 平成 24 年 3 月</u> より
7 ページ 「極低出生体重児や超低出生体重児の発育を評価する上で重要な視点」の図	極低出生体重児や超低出生体重児の発育を評価する上で重要な視点  極低出生体重児や超低出生体重児の発育を評価する上で重要な視点	極低出生体重児や超低出生体重児の発育を評価する上で重要な視点  <u>発育曲線は、暦年齢 3 歳まで修正月齢でみることが多い。</u>
13 ページ 【図 7】タイトル	出生児体重別 単胎時の子育てについて「とても大変」と回答した割合	<u>出生</u> 体重別 単胎児の子育てについて「とても大変」「やや大変」と回答した割合
13 ページ 【図 8】タイトル	出生時体重	<u>出生</u> 体重

※下線部が修正箇所となります。